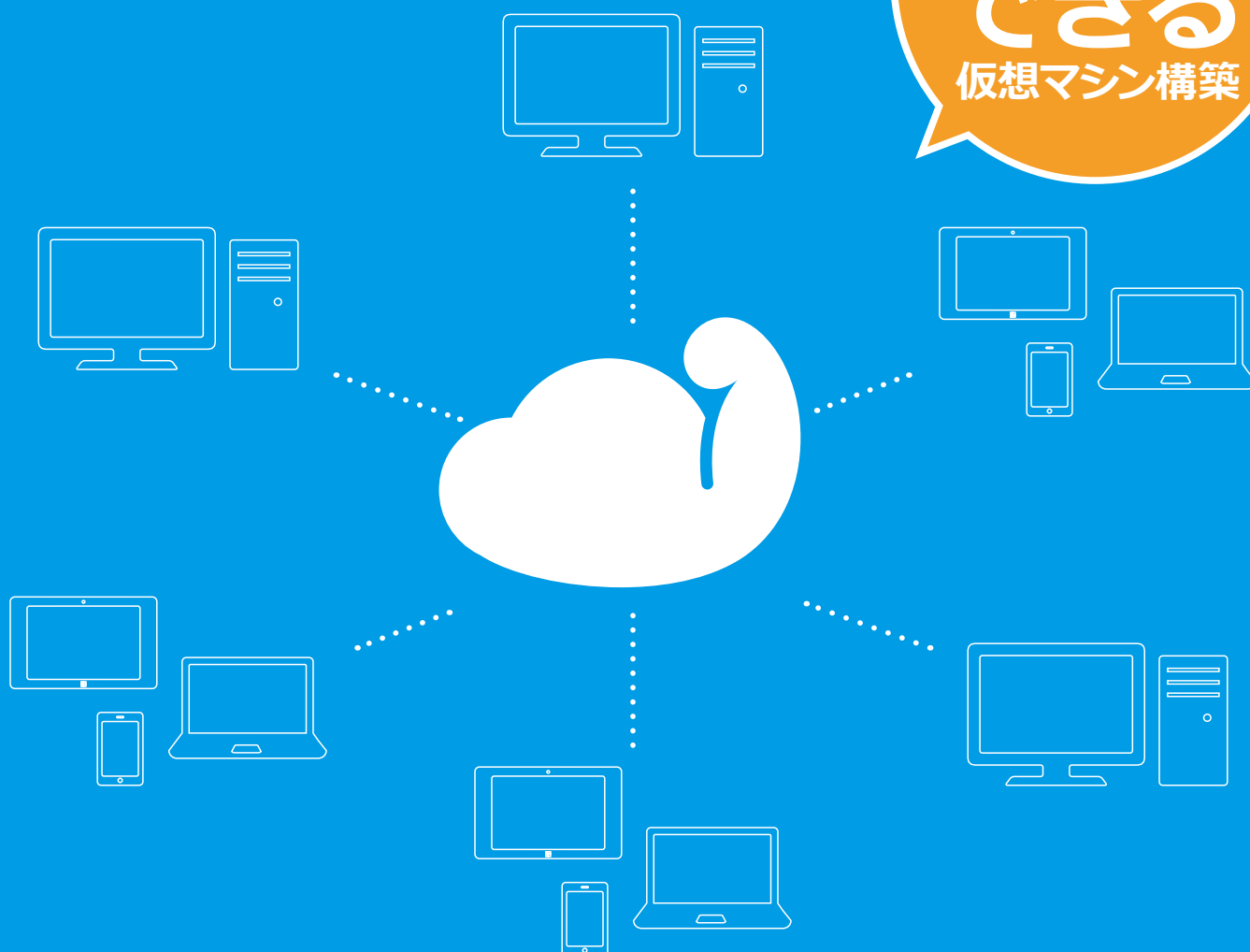


IDCフロンティアのクラウドサービス

めちゃ楽ガイド

IDC Frontier Cloud
Installation Guide

今すぐ
できる
仮想マシン構築





仮想マシンの構築 Linux編

わからなくなったら無料サポートへ ▶ クラウドコンソールより「サポート」>「お問い合わせ」からチケットにてお問い合わせください。(平日 9:00-17:00※緊急時は24時間365日)

今すぐできる
サーバー構築

IDCFクラウドのサインアップが完了したら、いよいよ実際に仮想マシンを構築しましょう。

●推奨ブラウザは、Mozilla FireFox 最新版、Google Chrome 最新版

1

クラウドコンソールから「仮想マシンの作成」をクリックします。
ログインしていない場合は、下記URLからログイン画面にアクセスし、ログインIDとパスワードを入力してログインします。

➔ ログイン画面

<http://idcfcloud.com/>

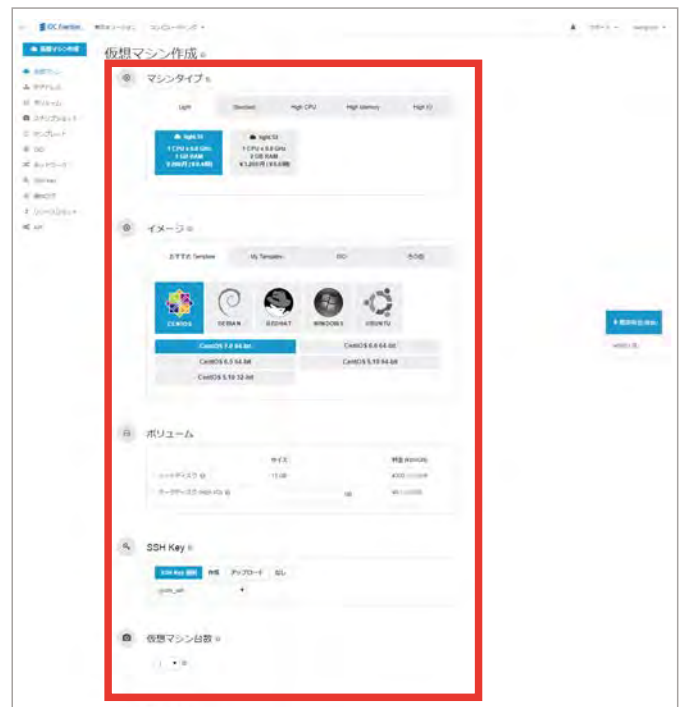


2

仮想マシンのスペックを選択します。
各マシン欄に記載の括弧内の金額は1時間あたりのご利用金額です。括弧外の金額は1か月のご利用上限金額です。

OSイメージを選択します。
IDCFクラウド標準の「おすすめTemplate」の他、お客様が作成された「My Template」や、お客様がアップロードされた「ISO」などから選択できます。
ここでは例として「CentOS6.5 64-bit」を選択します。
※Redhat、Windowsはライセンス費用が別途かかりますのでご注意ください。

ボリュームの「データディスク」のサイズが選択可能です。
データディスクは1GB単位で1,000GBまで追加できます。



初期費無料、安心の“上限つき従量料金”

IDCFクラウドのご利用料金は、「仮想マシン」+「ボリューム」+「ネットワーク(3,240GB/月まで無料)」で構成されています。必要に応じて高性能なハードウェア専用タイプや有償OS、アーカイブデータなどをご利用いただけます。

もう従量/定額で迷うことはありません。ご利用料金もよりシンプルになりました。一定期間のご利用で月額上限料金を自動で適用します。短期利用なら使った分だけお支払い。たくさん使っても上限つきだから、予算が立てやすく安心です。



IDCFフロンティアのクラウドサービス「IDCFクラウド」

3

暗号化通信を行うため、SSH 秘密鍵を作ります。ここでは「作成」を選択して SSH 鍵名を入力します。次に作成をクリックします。

ポップアップ画面で「OK」をクリックします。次に SSHKey 欄に SSH 秘密鍵が表示されますので、このキー列をコピーして、メモ帳などのテキストツールにペーストして、テキストファイルとして保存します。

4

次に、仮想マシン台数を選択します。仮想マシンの名称とグループ名を入力します。任意の名称を入力してください。

プライベート IP アドレスは「自動設定」のチェックをオンにします。「自動設定」をチェックすると自動 (DHCP) で割り振られます。

IP アドレスを指定したい場合はチェックをはずし、[10.3.0.0/22] の範囲 (10.3.0.1 以外) 内で任意の IP アドレスを入力してください。

入力が完了したら、「確認画面へ」をクリックします。確認画面が表示されますので、内容に間違いのないことを確認し、「作成」をクリックします。



5

クラウドコンソール画面でステータスが Running に変わると、仮想マシン作成完了です。仮想マシンの root パスワードはメールで送信されます。



初期パスワードはセキュリティ保全のため、OS ログイン後にお客様にて変更いただくことをおすすめいたします。





IDCFフロンティアのクラウドサービス「IDCFクラウド」

仮想マシンのネットワーク設定

わからなくなったら無料サポートへ ▶ クラウドコンソールより「サポート」>「お問い合わせ」からチケットにてお問い合わせください。(平日 9:00-17:00※緊急時は24時間365日)

今すぐできる
サーバー構築

仮想マシンの作成が完了しました。次に外部からアクセスできるようにネットワーク設定を行います。

ネットワーク設定はパブリックIPアドレスごとに行います。ここでは、例としてSSH接続、HTTP接続用のネットワーク設定を行います。

1

IDCFのクラウドコンソールから「IPアドレス」をクリックします。ログインしていない場合は、下記URLにアクセスしてログインIDとパスワードを入力してログインします。

➔ ログイン画面

<http://idcfcloud.com/>



2

「IPアドレス」をクリックして、表示されているIPアドレス名をクリックします。次に「ファイアウォール」をクリックします。

下記ルールを追加し、「+」をクリックします。

項目	内容・操作
コメント	SSH
ソースCIDR	My IP※
タイプ	SSH

※My IPは操作端末のゲートウェイIPを自動設定できます。



3

http用の設定として以下を指定して「+」ボタンをクリックします。

項目	内容・操作
コメント	HTTP
ソースCIDR	Any
タイプ	HTTP



ファイアウォール設定とは？

初期設定では仮想マシンのファイアウォールはすべて閉じられています。設定したルールのみ、ファイアウォールは解放され、仮想マシンへの通信が行えるようになります。「ソースCIDR」は「ANY」「My IP」「Custom IP」から選択可能です。



IDCFフロントアのクラウドサービス「IDCFクラウド」

4

「ポートフォワード」をクリックします。SSH用の設定として以下を指定して「+」をクリックします。

項目	内容・操作
コメント	SSH
プライベートポート	22
パブリックポート	22
プロトコル	TCP
仮想マシン	仮想マシン名(選択)



SSH用のポート設定について

パブリックポートには、ファイアウォールでSSH用に解放したポート番号を設定してください。プライベートポートには、ファイアウォール配下で実際に通信したいSSHのポートを設定してください。

5

HTTP接続用の設定として以下を指定して「+」をクリックします。
設定が終わったら、画面右上の「×」で設定画面を閉じます。

項目	内容・操作
コメント	HTTP
プライベートポート	80
パブリックポート	80
プロトコル	TCP
仮想マシン	仮想マシン名(選択)



仮想ルーターでは何ができるの？

アクティブ/スタンバイ構成の仮想ルーターにより、冗長化されたお客さま専用ネットワークをご利用いただけます。仮想ルーターを経由したインターネットとの通信はパブリックIPアドレスのNAT接続を利用します。

仮想ルーター
 内部→インターネット …………… ソースNAT、スタティックNAT
 インターネット→内部 …………… スタティックNAT、ポートフォワーディング、ロードバランシング

ファイアウォール
 セキュリティポリシーは初期設定でAllDenyとなります。コンソールから必要な通信を許可する設定を自由に行っていただけます。※不要なポートや接続元は許可しないようご注意ください。

ロードバランサー	分散方法	ラウンドロビン	ヘルスチェック：TCP
		リストコネクション	間隔：2秒
		ソースIPハッシング	閾値：3回失敗

VPN
 プロトコル …………… L2TP over Ipsec
 認証方式 …………… Pre-shared key
 同時接続 …………… 可能 ※ただし、ソース IP アドレスが同一の場合は接続できません。



仮想マシンへのアクセス Linux編

わからなくなったら無料サポートへ ▶ クラウドコンソールより「サポート」>「お問い合わせ」からチケットにてお問い合わせください。(平日 9:00-17:00※緊急時は24時間365日)

Windowsから

これで仮想マシンの作成が完了しました。実際に作成した仮想マシンにアクセスしてみましょう。
Windowsからの接続方法は次の通りです。

1

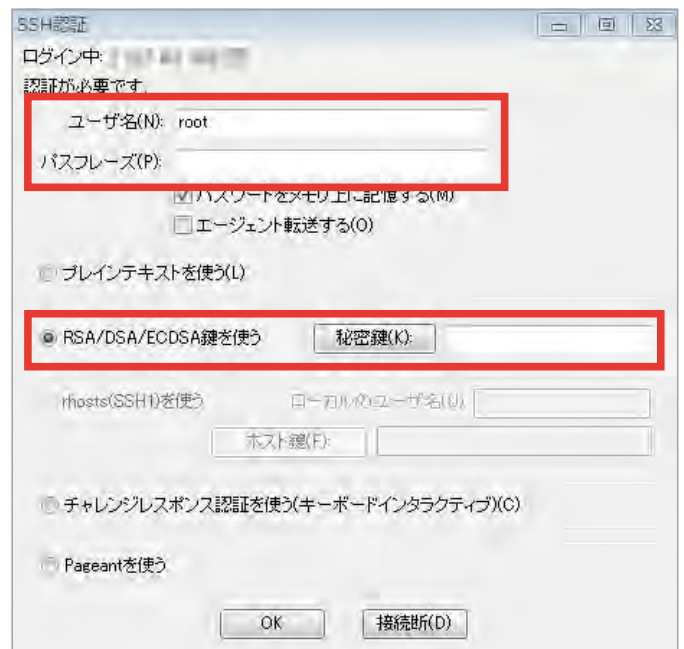
ここでは、TeraTermを使った仮想マシンへのアクセス方法をご紹介します。
「TCP/IP」の「ホスト」に、接続先のパブリックIPアドレス、ならびに「TCPポート」にパブリックポート番号を指定します。

接続先のIPアドレスは、クラウドコンソールの「IPアドレス」からご確認くださいませ。



2

SSH認証は、ユーザー名を「root」と入力してパスワードは空欄のままにしておきます。
「RSA/DSA/ECDSA 鍵を使う」にチェックを入れて、「秘密鍵」には「仮想マシン構築 Linux 編」の手順3で保存した秘密鍵ファイルを指定します。

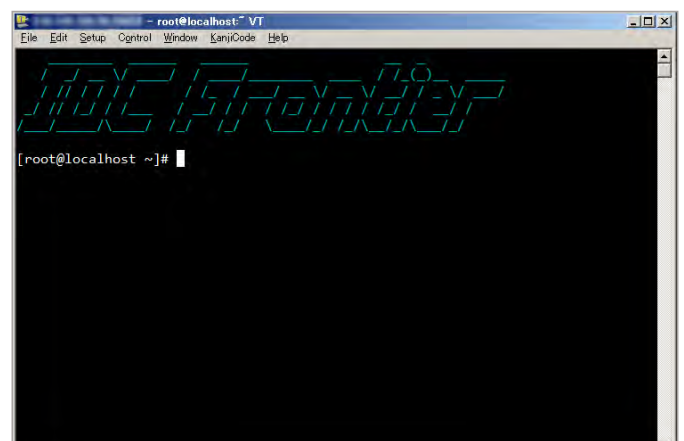


3

これで作成した仮想マシンにSSH接続できるようになりました。
SSH接続ができない場合は、以下を確認してください。

- IPアドレスに間違いはないか
- ファイアウォールの設定が正しく行われているか
- ポートフォワーディングの設定が正しく行われているか
- 仮想マシンのステータスが「Running」になっているか

上記を確認いただき、接続ができない場合にはサポートへお問い合わせください。





仮想マシンへのアクセス Linux編

わからなくなったら無料サポートへ ▶ クラウドコンソールより「サポート」>「お問い合わせ」からチケットにてお問い合わせください。(平日 9:00-17:00 ※緊急時は 24 時間 365 日)

Macから

これで仮想マシンの作成が完了しました。実際に作成した仮想マシンにアクセスしてみましょう。
Macからの接続方法は次のとおりです。

1

ターミナルを起動します。

接続先のIPアドレスは、クラウドコンソールの「IPアドレス」からご確認ください。

ターミナル起動方法

「Finder」>「アプリケーション」>「ユーティリティ」>「ターミナル」



2

次に、保存した秘密鍵のアクセス権を変更します。
ターミナルで次のコマンドを入力します。

```
$ chmod 600 Desktop/XXXXXXXX.txt
```



3

次のSSHコマンドを入力してログインします。

```
$ ssh -i Desktop/XXXXXXXX.txt -p 22  
root@210.XXX.XXX.XXX
```

画面に「IDCFrontier」のバナーが表示されたらログイン成功です。



コマンドに入力する内容は?

XXXXXXXX.txt

..... 保存されている秘密鍵ファイルを指定

210.XXX.XXX.XXX

..... 接続先のパブリックIPアドレスを指定



IDCFフロンティアのクラウドサービス「IDCFクラウド」

仮想マシンの構築 Windows編

わからなくなったら無料サポートへ ▶ クラウドコンソールより「サポート」>「お問い合わせ」からチケットにてお問い合わせください。(平日 9:00-17:00※緊急時は 24 時間 365 日)

IDCFクラウドのテンプレートには、Windows Server もあります。

基本的な流れはLinux編と同じですが、Windows Serverでの仮想マシン構築は次の点が異なります。

1

OS イメージを選択する際に、「WINDOWS」をクリックし、利用する OS イメージを選択します。



2

Linux 編の手順と同様に必要項目を入力します。「SSH Key」の項目は「なし」を選択します。入力ができたら「確認画面へ」をクリックします。

確認画面で Windows ライセンスと金額をご確認ください。作成内容が確認できたら「作成」をクリックしてください。



Windows Serverは有料OS

Windows Server OS はすべて有料テンプレートとなります。Windows Server を仮想マシンとして利用される場合にはテンプレート料金としてライセンス費用が必要となりますのでご了承ください。

また、ライセンス費用は仮想マシン停止時も課金されます。



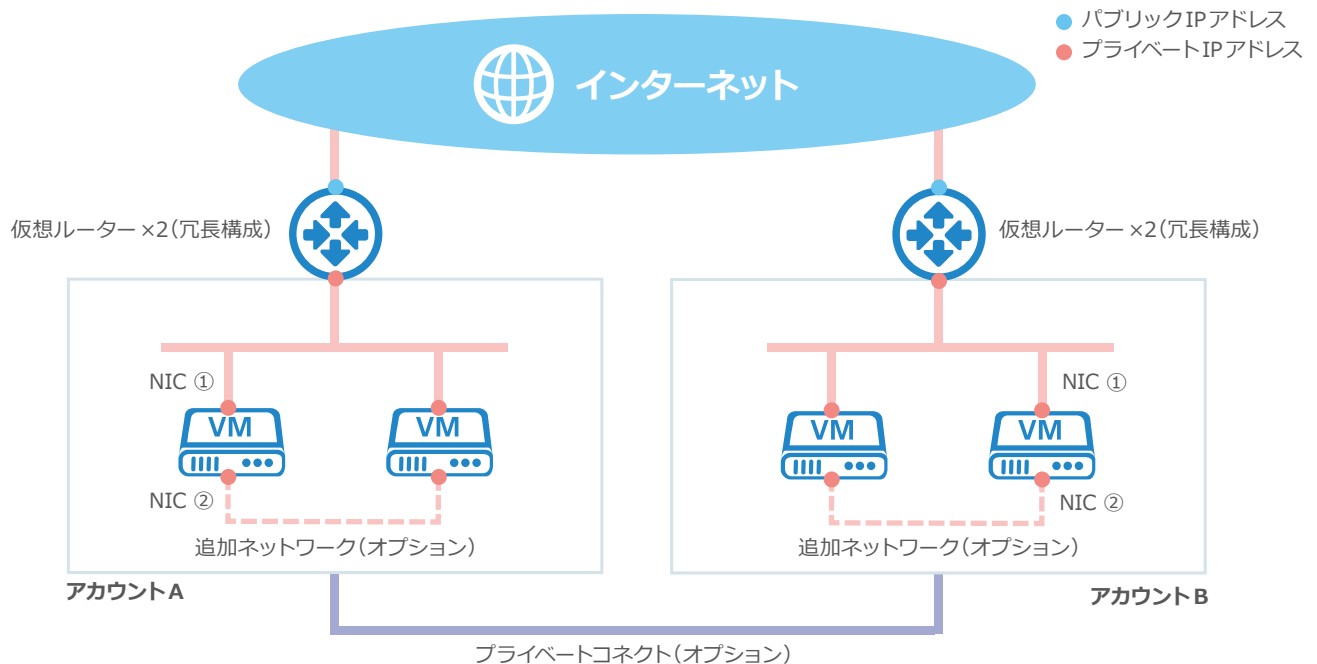
IDCFフロンティアのクラウドサービス「IDCFクラウド」

IDCFクラウド よくある質問

わからなくなったら無料サポートへ ▶ クラウドコンソールより「サポート」>「お問い合わせ」からチケットにてお問い合わせください。(平日 9:00-17:00※緊急時は24時間365日)

Q IDCFクラウドの基本構成は？

A 基本となる構成は以下の図をご覧ください。



- 仮想マシンにはプライベートIP (/22のIPセグメント、DHCP割り当て) アドレスが設定されます。OS再起動などで変更されることはありません。
- 外部からの通信は、仮想ルーターでプライベートIPアドレスに変換されて仮想マシンに転送されます。
- アカウント作成後、ゾーンごとに、1台目の仮想マシン作成時に2台の仮想ルーターも作成されます。
- 追加ネットワーク (オプション) は、仮想マシンに2つ目のNICを作成することができます。標準のネットワーク (図内のNIC①) とは別ネットワーク (図内のNIC②) で仮想マシン同士の通信が可能になります。
- プライベートコネクト (オプション) は、クラウドサービスのアカウント間、ハウジングサービス、専用物理マシンなどとL2/L3での接続が可能です。

IDCFクラウドと接続可能なサービスは？

クラウド

- ・ IDCFクラウドアカウント間、ゾーン間
- ・ セルフクラウド
- ・ マネージドクラウド

その他

- ・ オブジェクトストレージ
- ・ コンテンツキャッシュ
- ・ Yahoo!ビッグデータインサイト
- ・ ベアメタルサーバー
- ・ ハウジングサービス
- ・ 外部キャリア



IDCFクラウド よくある質問

わからなくなったら無料サポートへ ▶ クラウドコンソールより「サポート」>「お問い合わせ」からチケットにてお問い合わせください。(平日 9:00-17:00※緊急時は 24 時間 365 日)



利用料金のお支払いについて

Q 支払い方法は何種類から選べますか？

A クレジットカード、口座振替、銀行振込でのお支払いに対応しています。すぐに利用される場合は、クレジットカードをご登録ください。口座振替、銀行振込は一定の条件を満たした方のみ法人登録申請書によりご利用いただくことが可能です。



アカウントについて

Q 1アカウントに作成できるユーザーに制限はありますか？

A 1アカウントで1マスターユーザー+パワーユーザー、ユーザー、ビルディングユーザー合計 11 ユーザーまでご利用いただけます。

Q ログインID/パスワードを忘れました。

A ログイン画面にある「ログインIDを忘れた」「パスワードを忘れた」からログインIDの確認、およびパスワードのリセットを行います。
ログイン画面 URL : <http://idcfcloud.com/>



仮想マシンについて

Q 仮想マシンは何台まで利用できますか？

A 1アカウントにつき 20 台の仮想マシンがご利用可能です。「リソースリミット」にて各リソースの利用可能数をご確認ください。上限を変更されたい場合はチケットよりご連絡ください。

Q 仮想マシンを作成するとどのような料金がかかりますか？

A 仮想マシンの料金=テンプレート料金+仮想マシン料金+ボリューム料金(ルートディスク+データディスク)で算出いたします。

Q オートスケールは利用できますか？

A API でのご利用が可能です。詳細はエンジニアブログをご覧ください。
IDCF エンジニアブログ : <http://www.idcf.jp/blog/>
また、マルチクラウド管理ツール Scalr もご利用いただけます。

Q ファイアウォールはありますか？

A 標準で提供している、仮想マシン群とインターネットの間に設置されている仮想ルーター(2台冗長構成)がファイアウォールとして動作します。セキュリティポリシーは初期設定で AllDeny となります。必要な通信を許可する設定を行ってください。※不要なポートや接続元は許可しないようご注意ください。

Q ロードバランサーは利用できますか？

A 標準で上位に設置されているバーチャルルーター(2台冗長構成)がロードバランサーとして動作します。ロードバランサーで外部からのアクセスを複数サーバーに負荷分散することも可能です。

Q バックアップは取得できますか？また、ユーザー側でバックアップを取得する必要がありますか？

A はい。仮想マシンのデータはお客様にて必ずバックアップの取得を行ってください。スナップショットやテンプレートは、仮想マシンにアタッチするボリュームとは物理的に異なる筐体に保存される構成のため、仮想マシンのデータ保存に適しています。

Q APIは利用できますか？

A はい。CloudStackAPIのUserAPI(Public)をベースとしたAPIがご利用可能です。詳しくは、以下ドキュメントサイトをご覧ください。
IDCFクラウド ドキュメントサイト : <http://docs.idcf.jp/cloud/introduction/>



IDCFフロンティアのクラウドサービス「IDCFクラウド」

MEMO

わからなくなったら無料サポートへ ▶ [クラウドコンソール](#)より「サポート」>「お問い合わせ」からチケットにてお問い合わせください。(平日 9:00-17:00※緊急時は24時間365日)





お問い合わせ先
各種情報

IDCFクラウドユーザーガイド	http://www.idcf.jp/cloud/document.html
よくあるご質問	http://www.idcf.jp/cloud/faq/
ドキュメントサイト	http://docs.idcf.jp/cloud/introduction/
料金シミュレーション	https://www.idcf.jp/simulation/
IDCFフロンティア エンジニアブログ	http://www.idcf.jp/blog
IDCFフロンティア Qiita Organization	http://qiita.com/organizations/idcf
Twitter	https://twitter.com/idcfreanier
Facebook	https://www.facebook.com/fb.IDCFreanier

株式会社IDCFフロンティア

<http://www.idcf.jp> Email:service@idcf.jp

0120-26-2725 (通話料無料) 9:00-17:00 平日受付

※本カタログ(2015年5月制作)の内容は、予告なく変更することがあります。
最新情報は左記URLをご覧ください。
※記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。
※表示金額はすべて税抜きです。

